

2025 年 4 月 28 日

調査レポート「北関東広域におけるカーボンニュートラルの実現に向けて」 の発行について

株式会社めぶきフィナンシャルグループ（代表取締役社長 秋野 哲也）と株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長 地下 誠二）は、「北関東広域におけるカーボンニュートラルの実現に向けて」と題した調査レポート（以下、「当レポート」）を発行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本件は、本年4月からスタートした、めぶきフィナンシャルグループ第4次グループ中期経営計画において、重要課題（マテリアリティ）の一つとした「脱炭素社会・環境保全への貢献」への取り組みの一環です。

めぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンに掲げ、今後ともステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともに歩み解決することで、新たな価値を創り続け地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

当レポートは、北関東広域におけるカーボンニュートラルの実現に向けて、鹿島港や茨城港を輸入拠点とした水素・燃料アンモニアサプライチェーンの構築・活用など、内陸部における産業熱需要家が、カーボンニュートラルを実現するために必要な取り組み・支援を検討することを目的に実施しております。

調査手法としては、①国や自治体の政策動向、各業界の技術動向、鹿島港や茨城港の産業別設備状況やエネルギーフロー等を整理し、②2050 年までの「時間軸」を踏まえた北関東内陸部で見込まれる水素・燃料アンモニア需要量を試算しております。さらに、③「需要の地理的賦存状況」を踏まえて、茨城県沿岸部から北関東広域に水素・燃料アンモニアが供給される場合を想定しました。当該検討を踏まえ、内陸部産業熱需要家が将来のエネルギー転換を円滑に行うための具体的な取り組みシナリオに関し考察しております。

当レポートの閲覧をご希望の方は、[こちら](#)をご参照ください。

以 上